プレスリリース

国立映画アーカイブ
National Film Archive of Japan

「関東大震災映像デジタルアーカイブ」に早くも第２弾作品公開！

『関東大震災』［返還映画版］公開のお知らせ

左：『関東大震災』［返還映画版］1923 年　火煙と強風に煽られる丸の内
右：『関東大震災』［返還映画版］1923 年　上野山下の街頭を埋めた避難民

お世話になっております。国立映画アーカイブでは、去る９月１日に WEB サイト「関東大震災映像デジタルアーカイブ」を国立情報学研究所と共同で開設しました。本サイトでは、1923（大正 12）年９月１日に発生した関東大震災について、当館が所蔵する関連の映画フィルムなどの資料を公開しています。「撮影場所」、「シーン（写されている事象）」で分類された「クリップ」単位での検索・閲覧が可能で、作品のディテールをより深く、横断的に見ることができるようになっています。関東大震災発生から 100 年にあたる 2023 年９月１日までに、２年をかけて、当館で所蔵する関東大震災関連の全ての映画フィルムの公開を目指しています。**サイト開設時には、長篇記録映画『關東大震大火實況』の全篇を公開。そしてこのたび、11 月５日に第２弾となる作品『関東大震災』［返還映画版］を公開することが決まりました。**

『関東大震災』［返還映画版］（13 分｜1923 年｜サイレント｜白黒）
【作品概要】上野界隈や浅草凌雲閣（十二階）などが登場する前半は、激しい火焔が強風に煽られている様子や、街頭や線路上を避難民が埋め尽くす場面が記録されており、地震発生から間もない時刻に撮影が行われたものと思われています。鎮火後に撮ったと見られる後半では、焦土と化した各地の光景が次々と紹介されます。

※返還映画とは……1967 年に米議会図書館との間で締結された協定により、占領期の日本や戦時中の米日系人コミュニティより没収された戦前日本映画約 1,300 本の収集が行われました。これらの作品を「返還映画」と総称しています。

クリップでは、火炎と強風に煽られる丸の内や、上野山下の街頭を埋めた避難民など、５つのシーンを切り抜きました。詳しくは次頁をご覧ください。
つきましては、ぜひとも本サイトのご紹介をご検討いただきますよう、お願い申し上げます。

※［返還映画版]以外の『関東大震災』も順次、本サイトで公開する予定です。

「関東大震災映像デジタルアーカイブ」https://kantodaishinsai.filmarchives.jp/

【本件に関するお問い合わせ】
国立映画アーカイブ「関東大震災映像デジタルアーカイブ」広報担当
電話：03-3561-0823／FAX：03-3561-0830／E-mail：kanto1923@nfaj.go.jp

『関東大震災』［返還映画版］クリップ一覧

場所：千代田／シーン：火災

画面手前に建つ海上ビルの向こうに、帝室林野管理局での火災による白煙が強風に煽られている。

場所：台東／シーン：避難

上野山下に密集する避難民。通りの真ん中に市電が停まっている。カメラは通り東側の建物から公園入口、広小路方面の２方向に切り返している。

場所：台東／シーン：火災,焼失,倒潰・損壊

上階が損壊した浅草凌雲閣（十二階）。周囲ではまだ激しい炎が舞い上がっている。

場所：千代田／シーン：焼失,倒潰・損壊,避難

広瀬中佐像が建つ万世橋駅前の街頭を行き交う人々とともに、俯瞰のカメラが周囲の焼跡を写し出す。

場所：墨田／シーン：焼失,倒潰・損壊,避難

瓦礫の焦土。避難用と思われる戸板を担いで、街路を歩む集団の姿が写され、震災後を生きる人々の姿を垣間見ることができる。

【本件に関するお問い合わせ】
国立映画アーカイブ「関東大震災映像デジタルアーカイブ」広報担当
電話：03-3561-0823／FAX：03-3561-0830／E-mail：kanto1923@nfaj.go.jp